
■ 平成 27 年度 第 1 回「学芸大学駅周辺地区懇談会」 議事概要 ■

日 時：平成 27 年 10 月 8 日（木） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

場 所：目黒区鷹番住区センター 第 3・4 会議室

出席者：メンバー：16 名

目黒区：都市整備課：立山課長、鎌瀧係長

道路工事課：山下係長、伊藤主事、金成主事

コンサルタント：湯浅、小林、河井

1 概要

○懇談

- 1) 交通安全対策の整備工事について
- 2) 「商店街の街づくり」の取り組み状況について
- 3) その他

2 意見要旨

1) 交通安全対策の整備工事について

- ・ 歳末は駅前の工事を行うのか。
- 12 月 25 日前後頃までは、工事関係の作業が入っており、基本的には夜間工事になる。もし変更等があれば、業者が決まった時点でお知らせをする。また、作業の変更等が必要な場合は、情報提供をお願いしたい。
- ・ 店舗によっては段差プレートがあるので、はみだし等については撤去をお願いしたほうがいいのか。
- 事前に調べさせてもらい、撤去は必要ないと確認をしている。大きく穴を掘って直すのではなく、中から補修するようにする。
- ・ 鉄道のガード下で、歩ける通路がある所とない所がある。その場合、断面が違ってくるはずだが、同じような断面で描かれている。ガード下の通路が提供されている部分は歩道扱いで認識をしているので、車道には歩行空間を作らないことになっているはずだが、通路に関しての考え方が違うのではないか。
- 鉄道高架下の通路は、全区間において歩行者が歩ける状況とはなっていない。そのため、鉄道脇道路の幅員構成は、鉄道と反対側の既設白線及び歩行空間は現況のままとした上で、車線部は東西商店街と同じように最小幅員 2.5m を確保し、残りの空間が歩行空間となるように考えている。
- ・ 通路だと思っているところに、いろいろなものが置いてある店舗があるので、その調整をしてほしい。置いたままにされてしまうと、歩行者が歩けないため車道に出してしまう。車道を舗装するだけでなく、このようなことも含めて考えてほしい。
- その件については、商店街側も問題意識を持っているので、継続して一緒に行ってい

くことになる。

- ・ 唐ヶ崎通りの舗装に関しては、現状復旧されていないところが3箇所ある。8月31日までに工事が終わる旨の通知はあったが、現況交差点のところまでとなっている。

「区の方から言われれば直す」ということなので、対応をお願いしたい。

→道路工事については、時期、場所含めて道路管理課と確認させてほしい。

- ・ 碑文谷公園通りのお地蔵さんのある交差点の停止線について、横断歩道の手前と交差点の手前に二本線があるが、交差点に入る前に停止線を置いてほしい。

→以前は交差点に入る手前に停止線があったが、交差点が大きく、青信号の内に渡りきれない等の問題があり、安全性を高めるため、横断歩道の手前に変更し、交差点を小さくしたという経緯がある。現在まだ整備途中ということもあり、舗装状況が整っていない。二重に停止線を設置するのは難しいと思うが、現地を確認し警察と協議したいと思う。

2)「商店街の街づくり」の取り組み状況について

○押しちゃりキャンペーンについて

- ・ 押しちゃりキャンペーンに関して、今までどこが主体なのかが曖昧という意見があり、新しい会を作ったという事だが、町会側に事前の話が無かった。きちんと伝えてほしかった。

→キャンペーンの主体が変わった点については、商店街と区が主体でやったほうが良いということになった。決まってからの期間が短かった為、後追いで町会長宛てに周知の通知と参加の依頼文を出すときにその旨をお伝えした。事前に準備をしておけば良かったが、3日後の会には間に合わず、一週間遅れで会長をお願いした。お詫び申し上げる。

- ・ 駅前でティッシュ配り等のキャンペーンが多い。自転車だけでも、盗難防止や放置自転車等、月に2回程度あり、それぞれ所管が異なる。もし行うのであれば、打合せをして調整してほしい。

→キャンペーンが多い点については、区の方の勝手に申し訳ない。極力調整したいと思う。

○商店街の活性化について

- ・ 街の活性と道路がリンクしていない。特に西口の商店街については、コーヒー屋やマック等があるところに、地元から提案があった時間設定で構わないので、オープンカフェのような企画、またその可能性について検討してほしい。

→オープンカフェに関しては、歩道幅員が5m以上あり、カフェを出店して2m以上歩道が確保できていれば可能だが、西口商店街では難しいと思う。歩道が狭くても、区と警察との協議が通れば可能性はある。

○商店街の街づくりの取り組みについて

- ・平成17年から商店街の街づくりをやっているが、ハード面では変わったかもしれないが、東西商店街で変わったところは、看板と商品のはみ出しが少なくなったという2点くらいだが、完全に無くなったわけではない。違反する店は決まっているので、そういう店への働きかけを強力に行わないといけないと思う。旗（のぼり）の看板と商品のはみ出しは、目の不自由な方にとっては危険である。路上駐輪については、商店街利用者が減少するかもしれないという問題もあるが、それらが変わると良くなると思う。イタチごっこだと思うが、その辺は常に意識して進めてほしい。
- ・トイレの整備についても、街づくりとして入れたほうがいいと思う。街づくりの中に位置づけをしてほしい。
- ・放置自転車について、警察も区もそれぞれ注意喚起を行っている。その期間が極端に短く回数も多いので、一緒に行う等の調整をしてほしい。

→情報を共有し、極力1回で多くの方がキャンペーンに参加できるような日を設定できるように調整する。担当所管にもその旨を伝える。

3) その他

○ゾーン30について

- ・ゾーン30に関しては、都市計画道路補助26号線が出来上がった段階でここに含まれる区域、全部がゾーン30になるよう調整をしてほしい。唐ヶ崎通りと公園通りは既に30キロ規制となっている。交通量がある地区なので、バス通りその他含めて交通計画を作成してほしい。

→ゾーン30については、公安委員会が指定することなので、警察等も含めて今後も区が協議を進めていく。

- ・道路の機能として、防災上の観点から問題になる区道のピックアップをしてほしい。以前、ヒヤリハットみたいな取り組みも行っていたが、4m未満の狭隘な部分、ブロック塀等、災害時に危険な道路を区で調査してほしい。駄目だという回答でも構わない。

→防災については、東京都全体がオリンピックに向けて安全なまちづくりに取り組んでいるが、特に危険地域として挙げられる“木造住宅密集地域”については、この周辺では目黒本町・原町辺りが対象である。指標としては耐火建築物や広い道路等の割合が70%未満で、60%以上なら殆ど燃え広がらない。学芸大学駅周辺整備地区のエリアでは耐火建築物等の割合が殆ど70%を超えており、そういう意味では心配の少ないエリアと考える。

- ・ゾーン30の標識、表示等は30キロに変わっているのか。

→ゾーン 30 のエリア入口には、標識等を設置している。

- ・ 鷹番 3 丁目辺りは、ゾーン 30 にして 1 年近く経つが、事故率に変化はあったのか。

→事故率については、警察から毎年データをもらっているが、事故だけで分析するのは非常に難しく、増えたり減ったりしている。今後、効果の検証はしたいと考えている。

○補助 26 号線整備について

- ・ 旧六中跡地に関しては、10 月 18 日に説明会があるとのことだが、前回の説明会でかなりの反論が出ているにも関わらず説明会だけで済まそうとしている。建築予定建物は 5 階建てで 17m にもなる。近隣住民の中には緑地ができると聞いて、引っ越してきた人もいたと聞いている。行政の中で情報共有されていないのではないかと。学芸大学駅周辺地区整備構想策定において、旧六中跡地は大きな拠点であると位置づけられているので、各セクションではなくて、統括する部署をつくってほしい。これは都市整備課にやってほしいと思う。信号の設置要望等も含め、全体の部分を調整してほしい。コンサルは経緯を知っているため、整理して内部資料の作成をしてほしい。

→旧六中跡地に関しては、この場で検討する議題ではない。

構想の段階では、この会での課題の一つであったが、その後、方針・計画と進んでいく中で、福祉施設の使い方については別途設置された「旧六中跡地検討委員会」により、学識経験者や町会、住区、PTA 等、地元の方も参加して使い方について検討している。当初、旧六中跡地についてこの会で意見が出たものについては、所管である区の政策企画課に伝えているが、根本的な内容についてはこの場で検討するものではないと過去の経緯や資料から判断している。先日説明会があり、いろいろ意見があったという事で、政策企画課と保育や高齢福祉の担当所管が責任を持って対応するという事になっている。

この会で議題とするならば、鷹番小学校及び、鷹番住区センターなどと同様に、交通バリアフリー計画の中の主要な施設に旧六中跡地が位置づけられており、あんしん歩行エリア整備と合わせた施設のバリアフリー化や出入口部分の段差解消についてであり、「街を歩きやすくする」ということである。根本的な部分（使用方法等）については、話があったということを政策企画課に伝える。

- ・ 補助 26 号線に関して、粗大ごみ中継所が移転することになるが、近辺の道路計画は決まったのか。

→都が計画をしており、目黒通りの線形と取り付けを調整しているところで、決定はしていない。4 月の段階では警察と調整・協議をしていると聞いている。

- ・ 補助 26 号線では信号機をどの辺につけるか決まっているのか。

→それもまだ調整中と聞いている。旧六中跡地の所に横断できるよう設置を要望している。また、補助 26 号線により線形が切れてしまうところがあるので横断できるよう、

合せて要望している。

- ・ 町会の真ん中を補助 26 号線が通るので、計画がある場合は説明してほしい。
- 現在要望しているが、都からの回答はまだ区に報告はない。情報が入り次第、情報提供したい。
- ・ 補助 26 号線に関して、平成 26 年度末で用地取得率 75%とのことだが、残りの 25% はうまくいっていないと聞いたがどうなのか。
- 具体的な情報は持っていないが、マンションが課題になると思う。マンションの場合、所有者の 8 割～9 割の同意が必要のため、非常に大変である。

○街づくり全体の窓口の統一について

- ・ 街づくりの窓口を 1 つにしてほしい。例えば、福祉施設であれば、交通、バリアフリー、防災など様々な問題が発生するが、この問題を各担当所管がばらばらに検討するのではなく、街づくり全体として取りまとめてほしい。この懇談会で全ての取りまとめができるのであれば理想的なので、そのような形で全体部分の計画を立ててほしい。商店会と町会、住民との協力体制はどうするのか、どのような方向性で街づくりを行うかを取りまとめる窓口をもう一度作るべきである。全体部分の議論ができる窓口は、都市整備課ではないのか。
- 都市整備課の範ちゅうを超えている。現在は平成 17 年から検討した、学芸大学駅周辺の街づくりについての、地区整備計画やバリアフリー計画をもとに進めている。その部分については責任をもって行う。但し、目黒区の人口は約 27 万人であり、人口が 2000～3000 人程度のまちであれば、ある程度は可能かもしれないが、これだけ大きいまちとなると、それぞれ所管が責任を持ってやらなければいけない。窓口では何の責任も持てない。専門部署が責任を持ってやるべきである。それをいかに調整していくかということである。今回都市整備課については、学芸大学の整備計画を進めていく。区政全体の窓口について、ご意見があったことは伝えておく。

3 事務局からのお知らせ

- ・ 次回の開催は 2～3 月頃を予定。決まり次第お知らせする。